

令和6年度 地域福祉推進にあたってのテーマ型意見交換会の開催について <<包括的相談支援編>>

(案)

1 目的・狙い

区の重層的支援の包括的相談支援に関わる関係機関が集まり、大田区地域福祉計画の基本目標のひとつである「安心して生活できる地域を支えます」の構築に向け、課題整理やアイデア出し等が行える場として開催する。

2 令和6年度テーマ

『包括的な相談支援に向けて、支援者が孤立しないために』

区民一人ひとりの複合的な課題に対応していくには、分野横断の包括的な支援を行う必要がある。しかしながら、関係機関と情報を共有するにも本人同意がとれなかったり、利用者やその家族からの理不尽なハラスメントを受けるなどの問題があったり、支援者が一人で抱え込み、孤立しないようにすることが重要である。

その実態を把握し、どんな対処が必要なのか、各現場の支援者との意見交換を通して対策等を検討する。

3 予定参加者 20名程度(4グループ)

地域包括支援センター、JOBOTA、SAPOTA、障がい者総合サポートセンター、大田区社会福祉協議会、フラットおおた、プシケおおた、大田区介護支援専門員連絡会、教育センターSSW、子ども家庭支援センター

4 ゲスト及びファシリテーター案

(1)ゲストティーチャー(ファシリテーター):東邦大学医学部精神神経医学講座 根本教授 (調整中)

(2)ゲストティーチャー:東京都福祉人材センター

5 意見交換イメージ

グループワーク方式(またはワールドカフェ方式)で意見交換を行う。

